

杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第113回

郷土の偉人・大島有隣
— 石門心学入門⑮ —

「雑事聞書」の類には、儒教・仏教・神道の教えに基づく記述が多いことが、すでに指摘されています。お見込みのとおり、それらは、誰にでもわかりやすい道徳を示すものともなっており、まさしく心学思想そのものともいえます。そのような知識の多くは、おそらく足立十右衛門が、大島有隣その人から直接学んだことも多かったと推測されます。

といいますのも、栗橋関所番士であった足立家の史料には、大島有隣の「心学道歌集」をはじめとした石門心学の著作物があるほか、謡曲「山姥」の写本が残され、その奥書に大島有隣から蔵書を借用し、書写したとの記述が確認されているからです。いくら足立十右衛門に栗橋関所番士という肩書と信用があるとはいえ、心学者として名を馳せた有隣が、見ず知らずの人や、一見の者に対し、蔵書を無闇に貸すとは思えません。さすれば、このエピソード一つを見ても、十右衛門と有隣との、関係性の深さを窺い知ることが出来ます。

「雑事聞書」の内容に話を戻しますと、そ

の中では謙譲の姿勢や朋友の大切さ、男女夫婦の別と順愛の教え、篤実の心や父母を養うことの大切さ等も説かれており、まさしく足立十右衛門自身が、心学的倫理規範を持った人物であったことがよくわかります。特にそれらは、大島有隣の著作等に通ずる部分が垣間見えることから、有隣の心学思想に十右衛門が相当傾倒していたことが推察されます。それ以外にも、大島有隣八十一歳の時と思われる和歌一首のほか、中沢道二、手島堵庵、石田梅岩という石門心学三英傑の和歌各一首と共に、その三人の学問的系譜についての記述も見られます。(つづく)

※前月号参照

参考文献『埼玉県史料叢書25 栗橋関所史料
六 雑事聞書―日光御参詣御用中書留』



栗橋関所模型
(久喜市立郷土資料館提供)

(社会教育課 町史・文化財担当編)

紅葉と冬桜 杉戸町民が巡る 神川町魅力発見バスツアー

杉戸町民だけの特別バスツアー♪4年ぶりに開催します！歴史、建造物、自然、体験など交流都市の神川町の魅力を存分に堪能してください。

日時 11月14日(火) 7時45分集合～18時30分散会 (予定)
集合・解散場所 杉戸町役場 **目的地** 神川町
費用 3,000円(昼食代・保険代)
対象 町内在住の方 **定員** 40名(応募者多数の場合、抽選)
申込方法 10月10日(火)～25日(水)の間に、産業振興課または杉戸深輪産業団地地区センターに設置してある応募用紙に必要事項を記入のうえ、同所設置の応募箱に投函
その他 1グループ2名まで(うち1名は18歳以上の方に限る)

杉戸町と神川町の交流

利根川水系の上下流に位置する両町は、平成14年から「杉戸町・神川町交流の森林整備協定」を結び、水源地にあたる神川町に「杉戸町・神川町交流の森」整備に取り組む他、イベントに出展するなど交流を進めてきました。両町相互の更なる上下流交流を積極的に取り組んでいくため、森林整備協定を拡大する形で、平成29年より「杉戸町・神川町相互交流協定書」を締結し、交流事業を進めています。

申込・問合せ

産業振興課 商工観光担当 内線309

主なスケジュール

武蔵二ノ宮「金鎖神社」～ヤマキ醸造工場見学・豆腐づくり体験・お買い物～昼食(ペンションウエンテラー)～下久保ダム見学～冬桜鑑賞(城峯公園)～温泉サバ養殖場見学(白寿の湯)



UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE